

5 2018年度6月補正予算の主な事業

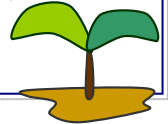
(1) 町田市5ヵ年計画 17-21 における主な取り組み（重点事業）

将来を担う人が育つまちをつくる

子どもクラブ整備事業

2,220 万円 (23 ページ)

「子どもの『居場所』の配置に関する基本構想」に基づき、新たに鶴川第二中学校の学区域内に設置する子どもクラブの実施設計を行います。

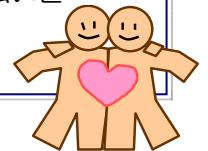


安心して生活できるまちをつくる

温浴施設整備事業

1,685 万円 (24 ページ)

新たな熱回収施設（焼却施設）で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設を、室内プールの敷地内に整備します。



賑わいのあるまちをつくる

小田急町田駅周辺地区整備事業

570 万円 (25 ページ)

多摩都市モノレール延伸を見据えた町田駅交通ターミナル再構築等の検討と連携して、新たな賑わいや交流の拠点となる施設等の整備に向けた検討を行います。

JR町田駅南地区再整備事業

1,015 万円 (26 ページ)

JR町田駅ターミナル口南側に直結する、市営原町田一丁目駐車場周辺に、複合的な機能を持つ拠点を整備するため、施設の概略検討を進めます。

中心市街地活性化推進事業

802 万円 (27 ページ)

「町田市中心市街地まちづくり計画」の実現に向けて、まちづくりの基礎資料となる通行量調査を行うとともに、道路空間の一層の利活用を進めます。

町田薬師池公園四季彩の杜整備事業

6 億 7,524 万円 (28 ページ)

観光拠点としての魅力を高めるため、西園内にカフェ等を備えたウェルカムゲートを整備します。また、薬師池北第一駐車場前に連節バスが停車できるバスベイを整備します。

野津田公園スポーツの森整備事業

2 億 8,128 万円 (30 ページ)

「第二次野津田公園整備基本計画」に基づき、多目的グラウンドやテニスコート整備の実施設計を行います。また、陸上競技場の観客席増設に伴う造成工事を行います。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

芹ヶ谷公園芸術の杜整備事業 **3億3,259万円** (32 ページ)

「芹ヶ谷公園再整備基本計画」に基づき、さわやかみどりゾーンの整備工事や小田急線側の密集した樹木の間伐を実施します。

(仮称) 国際工芸美術館整備事業 **2,993万円** (33 ページ)

市立博物館が所蔵しているガラスや陶磁器等、工芸美術作品をより多くの方にご覧いただくため、(仮称) 町田市立国際工芸美術館を整備します。

香山緑地整備事業 **1億8,809万円** (34 ページ)

鶴川地域の観光拠点の一つとするため、整備に向けた用地取得及び既存建物の耐震改修基本設計を行います。

町田市文化プログラム推進事業 **357万円** (35 ページ)

東京2020オリンピック・パラリンピック等を契機とし、町田市が文化を通してより豊かなまちへと成長するための仕組みづくりとして、町田市文化プログラムを推進します。

スポーツ広場計画策定事業(スポーツをする場の環境整備)

350万円 (36 ページ)

学校跡地や予定地、高架下、雨水調整池等をスポーツ施設やスポーツ施設を併設した公園として整備し、効率的・効果的な施設管理及び運用を行います。



暮らしやすいまちをつくる

路線バス利用促進事業 **6,014万円** (37 ページ)

「町田市便利なバス計画」に基づき、桜美林学園付近に乗り継ぎ拠点となる交通ターミナル整備の測量調査を実施します。また、成瀬駅北口広場の改良工事を行います。

多摩都市モノレール延伸事業 **7,332万円** (38 ページ)

多摩都市モノレール延伸を見据えた公共交通網の再編及び沿線まちづくりの検討を行います。また、導入空間の確保に向け、都市計画道路の調査等を実施します。

鶴川駅周辺街づくり事業 **7,131万円** (40 ページ)

「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、南口土地区画整理の事業認可の取得、北口交通広場の測量設計や、南北自由通路及び南口アクセス路の基本設計を行います。

相原駅周辺街づくり事業 **2,899万円** (42 ページ)

町田街道の立体交差化に伴い、相原駅東口のアクセス路整備のための測量等を行います。また、西口駅前及び東口アクセス路沿道の土地利用について検討します。

地域コミュニティバス運行事業 **888万円** (43 ページ)

コミュニティバスの導入を予定しているつくし野地区について、区画線改良等の走行環境整備を行い、2019年1月から実験を開始します。

※事業内容の詳細は別途記載があります。表示されているページをご覧ください。

忠生 579 号線・忠生 630 号線新設改良事業 **2 億 5,763 万円** (44 ページ)

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路である忠生 579 号線及び忠生 630 号線を整備します。

循環型施設整備事業 **4 億 3,184 万円** (45 ページ)

循環型社会の形成に向け、ごみの資源化施設の整備を進めます。

(仮称)町田スポーツ公園整備事業 **1,663 万円** (46 ページ)

「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、先行して活用を図る池の辺地区について、公園を整備するための基本設計を行います。

無電柱化推進事業 **1,488 万円** (48 ページ)

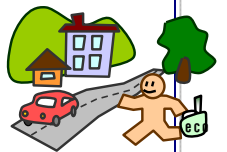
電柱のない街並みと良好な景観を形成し、災害時の電柱倒壊等の被害を防止するため、電線の地中化を行います。

都市計画道路 3・4・41 号線（小山）整備事業 **1,100 万円** (50 ページ)

円滑に移動できる道路網と、八王子市・相模原市を結ぶ広域的な交通ネットワークを実現するため、都市計画道路 3・4・41 号線（小山）を整備します。

水素ステーション誘致事業 **2,200 万円** (51 ページ)

水素社会の実現に向け、水素ステーションの誘致を行います。



(2) その他の取り組み（行政経営改革プラン、公共施設等維持保全事業など）

公共施設等マネジメント事業 **282 万円**（52 ページ）

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、「町田市公共施設再編計画」に基づき取り組みを推進します。

小・中学校適正規模・適正配置推進事業 **807 万円**（53 ページ）

年少人口が減少する将来を見据えて、児童・生徒がより良い学習環境で学ぶことができるよう、小・中学校の適正規模・適正配置を検討、推進します。

公共施設等維持保全事業 **4 億 1,517 万円**（54 ページ）

施設の安全性の確保と財政負担の平準化を図るため、計画的に施設の長寿命化工事を行います。

子どもショートステイ（宿泊保育）事業 **464 万円**（56 ページ）

保護者の病気や出産、家族の介護などで一時的に養育できなくなった時に、お子さんをお預かりします。生後 3 か月から利用できるよう、利用対象年齢を拡充します。

余裕施設活用型 1 歳児受入事業 **1,396 万円**（57 ページ）

開設後 3 年以内の認可保育所の空き定員や余裕スペースを活用することにより、待機児童の多い 1 歳児を受け入れ、保育の受け皿を拡充します。

幼稚園一時預かり事業 **4,122 万円**（58 ページ）

幼稚園において、2 歳児を定期的に預かる仕組みを新たに創設するとともに、3～5 歳児の預かりを拡充し、預かり事業の通年化・長時間化をすすめることにより、保育の受け皿を拡充します。

小・中学校入学準備金支給事業（就学奨励費） **123 万円**（59 ページ）

2018年4月に新小学1年生又は新中学1年生として入学した、町田市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対して、世帯の状況に応じ、就学奨励費（入学準備金）を増額して支給します。

町田市立小・中学校における働き方改革に向けた取り組み **3,947 万円**（60 ページ）

町田市の実情に応じた取組方針や目標を定めた実施計画を策定し、町田市立小・中学校における働き方改革を総合的に推進します。

件 名	子どもクラブ整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
22,200		0	0	0	0	22,200

【事業の背景・目的】

「町田市子どもセンター基本構想」に基づく市内 5 地区への子どもセンターの整備は、2016 年度に全地区への整備が完了しました。しかし、居住地によっては、「子どもセンターまで距離があり、小学生や親子連れでは行く事が難しい」といったアクセス上の課題が依然残っています。

その解決を図るために、「子どもの『居場所』の配置に関する基本構想」に基づき、子どもセンターを補完する子どもクラブの整備を進めます。整備にあたっては、「新・町田市子どもマスタープラン」の基本施策である子どもの参加と意見表明の機会を確保し、利用主体である子どもたちの意見を反映します。

【事業の内容】

鶴川第二中学校の学区域内に設置する子どもクラブの実施設計を行います。

整備予定地	町田市三輪緑山 3 丁目 25 番(スポーツ広場内)
想定規模	400 m ² 程度(平屋建て、軽量鉄骨)
利用対象	0 歳から 18 歳の児童及びその保護者
主要施設	遊戯室、多目的ホール、乳幼児コーナー
開館時間	10 時から 18 時
休館日	日曜日、祝日、年末年始(12 月 28 日から 1 月 4 日)

【スケジュール】

2018年度									2019年度・2020年度													
7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
		実施設計									建設工事								開館準備		開 館	
		子ども、地元とのワークショップ																				
		測量		地盤調査							指定管理者の選定											

【事業費】

実施設計委託料	16,090 千円
測量委託料	3,310 千円
地盤調査委託料	2,800 千円

問合せ先	子ども生活部 児童青少年課長 鈴木	電話	724-4097
------	-------------------	----	----------

件 名	温浴施設整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
16,848		0	0	0	0	16,848

【事業の背景・目的】

新たな熱回収施設（焼却施設）で発生する熱エネルギーを有効に活用するため、子どもから高齢者まで幅広い世代の健康の増進と交流を図る温浴施設を、室内プールの敷地内に整備します。

当施設の整備にあたっては、2016 年度に行った地域住民との意見交換会の結果を踏まえ、2017 年度に地域住民や有識者で構成される「熱回収施設等の周辺施設整備のあり方検討委員会」を設置し、2018 年 3 月に策定した熱回収施設等の周辺施設整備の基本構想で、温浴施設の概要を示しました。

【事業の内容】

2017 年度に策定した基本構想を基に、当施設整備の基本設計を実施します。

【スケジュール】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
基本設計	→				
実施設計		→			
整備工事			→	→	
供用開始 ※					→

※ 2022 年 4 月供用開始予定

【事業費】

基本設計委託料 16,848 千円



（温浴施設外観イメージ図）

問合せ先	文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田	電話	724-4036
------	-----------------------	----	----------

件 名	小田急町田駅周辺地区整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
5,700		0	0	0	0	5,700

【事業の背景・目的】

2016 年 7 月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に掲げる、「印象的で魅力ある駅前空間づくり」を進めることで、賑わいと交流に溢れるまちづくりの実現を目指しています。

そのためには、新たな基幹交通網である多摩都市モノレールの延伸を前提とした、町田駅の交通ターミナルの再構築等の検討と連携を図り、魅力ある駅前空間の実現に向けて、新たな賑わいや交流の拠点となる小田急町田駅周辺の開発、集客機能の導入などの検討を進めていく必要があります。

【事業の内容】

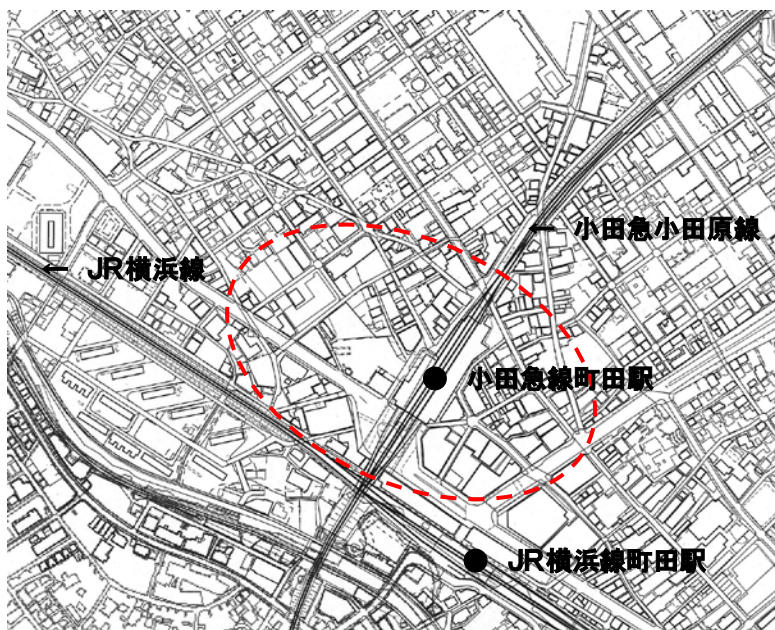
新たな賑わいや交流の拠点となる施設等の整備に向けて、多摩都市モノレール延伸事業と連携、整合を図りながら、事業性の検証などを行います。

【スケジュール】

2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
・土地利用基礎調査 ・事業性の検証等	・事業計画案 ・都市計画原案の検討	・事業認可取得に向けた事業計画（素案）の検討 ・都市計画案の検討 ・都市計画手続き準備		・都市計画決定	・事業認可取得

【事業費】

小田急町田駅周辺地区検討委託料 5,700 千円



※対象エリアは概ねの範囲を示すものです。

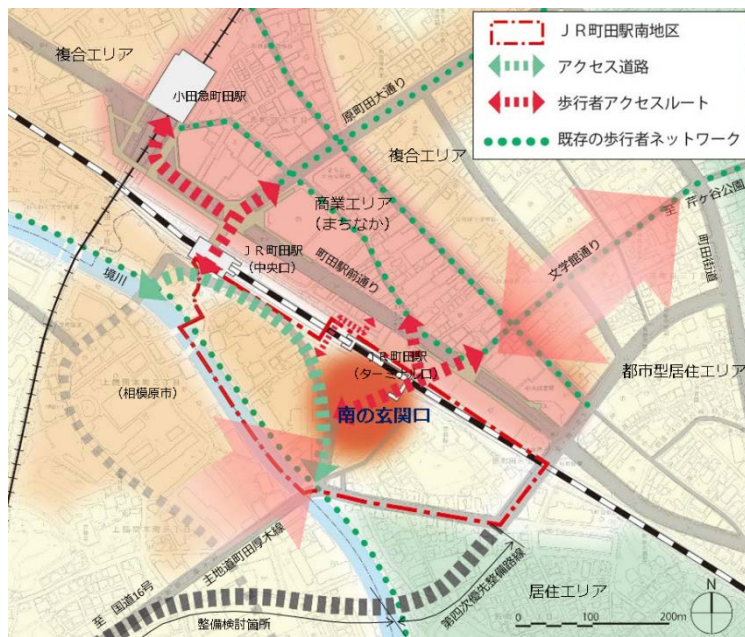
問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4026
------	--------------------	----	----------

件 名		ＪＲ町田駅南地区再整備事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
10,152		3,134	0	0	0	7,018

【事業の背景・目的】

町田市は、2016 年 7 月に策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に掲げる 10 のプロジェクトの一つである、町田駅南側から多くの人に街中へ訪れてもらうために、交通環境の整備やまちなかへのアクセスの強化に取り組む「南の玄関口のまちづくりプロジェクト」を推進しています。

2017 年度に策定した「ＪＲ町田駅南地区まちづくり整備方針」に基づき、ＪＲ町田駅ターミナル口南側に直結する市営原町田一丁目駐車場周辺において、複合的な機能を持つ拠点を整備するため、市街地再開発事業等を進めます。



ＪＲ町田駅南地区まちづくり方針図

【事業の内容】

市街地再開発事業等に向けて、地権者等との協議を進めるとともに、都市計画に係る検討、施設建築物の概略検討、権利変換計画の概略、資金計画の概略等の検討を進めます。

【スケジュール】

2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
・都市計画に係る検討 ・施設建築物の概略検討 等 ・権利者勉強会 ・関係機関協議（東京都、相模原市）	・都市計画手続準備 ・事業認可にむけて、施設建築物の用途、規模等の検討を深度化し、事業計画案の策定 ・権利変換認可にむけた、権利調整の検討		都市計画決定	事業認可取得

【事業費】

ＪＲ町田駅南地区再整備事業推進委託料 10,152 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金（国 1/3） 3,134 千円

問合せ先	都市づくり部 地区街づくり課長 原田	電話	724-4026
------	--------------------	----	----------

件 名	中心市街地活性化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,019		0	2,500	0	0	5,519

【事業の背景・目的】

市では町田市中心市街地活性化協議会と共同で策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づき、10のプロジェクトを推進しています。その一つである「原町田大通り 憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」では、来街者が中心市街地でゆっくりと楽しい時間を過ごしてもらえるようにするため、駅前の憩いの空間づくりや商店街の賑わいを連続させる空間づくりを行っています。

中心市街地に新たな賑わいを創出するためには、公共空間、特に道路空間の一層の利活用が必要です。しかしながら、交通のために造られた道路空間を別の用途に活用するには、道路占有の特例措置が必要となります。そのため、将来的に道路占有の特例措置を受けるための取り組みを進めます。

【事業の内容】

1 エリアマネジメント団体の設立

道路占有の特例措置を受けるためには、道路空間の利活用の担い手としてエリアマネジメント(まちづくりや地域経営を積極的に行う取り組み)を行う民間団体が必要です。そのため、町田市中心市街地活性化協議会等とともにエリアマネジメント団体の設立を目指します。

2 公共空間利活用実証実験

公共空間を活用した事業が周辺に与える影響や、事業効果を確かめるため、2018 年度は原町田大通りの車道や歩道などを活用して、賑わい空間をつくる実証実験を行います。

3 通行量調査

駅周辺の人の流れを調べるため、ペDESTリアンデッキやJR町田駅、小田急町田駅双方の出口で通行量調査を行います。収集したデータは、まちづくりの基礎資料や広告事業などエリアマネジメント団体が行うまちづくり資金の創出に活用するほか、民間でも活用できるようオープンデータとして広く提供します。

【スケジュール】

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 エリアマネジメント 団体設立	エリアマネジメントに関する調査・研究								
							団体設立準備支援		
2 公共空間利活用 実証実験	効果検証・アンケート調査設計			↓					
	契約・事業者調整		実証実験・検証						
3 通行量調査	通行量調査実施・オープンデータとして活用								
	屋外広告検討								

【主な事業費】 町田駅周辺通行量調査委託料 5,000 千円

公共空間利活用社会実験委託料 3,000 千円

【特定財源】 産業集積活性化事業費補助金(都 1/2) 2,500 千円

問合せ先	経済観光部 産業政策課長 井上	電話	724-2129
------	-----------------	----	----------

件 名	町田薬師池公園四季彩の杜整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
675,237		173,500	20,500	315,000	29,208	137,029

【事業の背景・目的】

「町田薬師池公園四季彩の杜」は、薬師池公園、リス園、ぼたん園、ダリア園といった観光施設や歴史的遺産、豊かな自然環境が存在する魅力的なエリアです。これらの公園その他の各施設について、四季折々の花や庭園、風景等を楽しめるように、施設の改修や施設間の連携を強化し、回遊性の向上に取り組むとともに、地域全体のブランド形成や戦略的な情報発信などを行うブランドマネジメントを推進し、町田市を代表する観光拠点として魅力を高めます。

【事業の内容】

1 西園・北園の整備

西園・北園の整備に向けた用地取得を進めるとともに、西園内のウェルカムゲートには、「町田薬師池公園四季彩の杜」全体の案内所機能や、ゆったり休憩できる休憩所とカフェ、そして農産物や加工食品の販売所等の町田の「農」を発信する機能を導入します。

また、昔からあるありのままの風景を楽しんで散策できるよう、西園の散策路の整備を行います。

2 薬師池公園周辺の整備

薬師池北第一駐車場前に、連節バスが停車できるバスベ이를整備します。

【スケジュール】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
西園	用地取得		開園	
	ウェルカムゲート外構工事			
		ウェルカムゲート建物工事		
	西園整備工事 2/3	西園整備工事 3/3		
北園	用地取得			
		実施設計	整備工事 1/2	整備工事 2/2
薬師池公園	連節バス対応バスベイ整備工事			

【主な事業費】

【特定財源】

ウェルカムゲート外構工事費(その1)	352,475 千円	社会資本整備総合交付金(国 1/2・1/3)
ウェルカムゲート外構工事費(その2)	0 千円	173,500 千円
(2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費	358,409 千円)	都市計画費補助金(都 1/2)
ウェルカムゲート建物工事費	0 千円	20,500 千円
(2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費	580,057 千円)	都市計画事業債
ウェルカムゲート工事監理委託料	8,857 千円	緑地保全基金繰入金
(2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費	27,044 千円)	区市町村観光インフラ整備支援補助金
西園整備工事費	161,500 千円	5,898 千円
用地購入費(西園・北園)	85,810 千円	
連節バス対応バスベイレ整備工事費	48,784 千円	
ウェルカムゲート前バスベイレ詳細設計委託料	3,024 千円	

【西園エリア整備イメージ図】



《ウェルカムゲート施設概要》

- ・計画地：町田市本町田 3119 番地1他
- ・敷地面積：約 30,300 m²
- ・建築面積：830.51 m²
- ・延床面積：762.19 m²
- ・構造：木造（一部、鉄骨造、鉄筋コンクリート造）
地上1階建て
- ・用途地域：第一種低層住居専用地域
- ・建物概要

- ①コンシェルジュ棟：案内所、店舗（物販面積：52.17 m²）
- ②カフェ・レストラン：飲食店（カフェ席数：55 席）
- ③無料休憩所：休憩所、公衆便所
- ④体験工房：体験工房、集会所
(料理教室など多目的利用)
- ⑤バックヤード：倉庫、公衆便所

・敷地概要

- ⑦駐車場：152 台（うち障がい者用 4 台）
- ①駐輪場：35 台（自転車、バイク）



カフェ・レストラン イメージ



コンシェルジュ棟 イメージ

問合せ先

都市づくり部 公園緑地課長 守田

電話

724-4397

件 名	野津田公園スポーツの森整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
281,280		38,000	20,600	103,000	49,733	69,947

【事業の背景・目的】

2014年5月に「自然の中で楽しむ総合スポーツパーク」を目指し、第二次野津田公園整備基本計画を策定しました。総合スポーツパークとして機能を高めるため、北側拡張区域に人工芝の多目的グラウンドの整備と施設稼働率の高いテニスコートの整備を優先的に進め、「スポーツの森」としての魅力を向上します。

また、町田市立陸上競技場は、Jリーグに加盟するFC町田ゼルビアのホームスタジアムです。2021年シーズン開幕までに、J1クラブライセンスの必須条件である観客席数を確保し、プロスポーツなどの大きな大会に対応する競技環境と観戦設備を整備します。

【事業の内容】

1 拡張区域に関する整備

第二次野津田公園整備基本計画に基づき、公園北側の拡張区域の用地取得、また多目的グラウンド及びテニスコート、公園中央入口付近の実施設計を行います。

《整備概要》

- ・多目的グラウンド(グラウンドサイズ 115m×71m、サッカー、フットサル、アメリカンフットボール、ラクロス等で使用可能)
- ・テニスコート(4面)
- ・バラ園移設(既存テニスコート付近)
- ・公園中央入口付近の整備(バラ園移設に伴う整備)
- ・駐車場(約40台)

【主な事業費】

公園拡張用地購入費（1.6ha）	158,318千円
野津田公園整備実施設計委託料	40,000千円
地質調査委託料	11,494千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金	
（国 1/3）	38,000千円
都市計画費補助金（都 1/3）	20,600千円
都市計画事業債	50,000千円
緑地保全基金繰入金	49,733千円



町田市第二次野津田公園整備イメージ

2 陸上競技場観客席増設

陸上競技場観客席増設に伴う造成工事を行います。

《整備概要》

- ・観客席数を、既存の 10,000 席から 5,000 席増設し、15,000 席にします。
- ・スタンド増設躯体工事(3 階建、高さ 21.8m、奥行き 18.7m、幅 128.2m)
- ・造成工事(ブロック積擁壁工 130m、土工、樹木伐採、既設構造物撤去等)

【事業費】

陸上競技場観客席増設造成工事費 71,433 千円

(2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費 183,405 千円)

【特定財源】

都市計画事業債 53,000 千円

【スケジュール】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
拡張区域整備	用地取得(物件補償・土地鑑定) 地質調査 実施設計	整備工事 1/3	整備工事 2/3	整備工事 3/3
観客席増設	実施設計 造成工事	観客席整備工事	外構工事	2021 年 2 月使用開始(予定)



観客席増設整備イメージ

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 守田	電話	724-4397
------	------------------	----	----------

件 名	芹ヶ谷公園芸術の杜整備事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
332,587		60,000	0	187,000	0	85,587

【事業の背景・目的】

中心市街地に隣接する緑豊かな芹ヶ谷公園は、地域に住む方々はもちろん、買い物や仕事で町田駅を訪れた方々も気軽に寄れる公園となっています。公園内の老朽化施設の改善や、樹木の適正配置によって明るい空間を創出すると共に、隣接する都営住宅跡地・町田荘跡地の整備を行うことで、中心市街地との回遊性を高め、新たな賑わいを創出する場とします。

【事業の内容】

さわやかみどりゾーン（都営住宅跡地）に、芝生広場、多目的広場、トイレ棟を整備するとともに、防災機能の向上を図るため、防災シェルター、マンホールトイレ等を設置します。

わき水と花の明るいゾーンのうち、小田急線側の密集した樹木の剪定・伐採を行います。

【スケジュール】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
さわやかみどりゾーン	施設実施設計 整備工事(その 1) 10 月～3 月	整備工事(その 2) 4 月～3 月	開園		
わき水と花の明るいゾーン	植生管理	植生管理	基本設計	実施設計	整備工事
アートイベントゾーン			基本設計	実施設計	整備工事

【主な事業費】

芹ヶ谷公園整備工事(その 1) 297,718 千円
 芹ヶ谷公園整備に伴う植生管理委託料 28,669 千円
 芹ヶ谷公園施設実施設計委託料 4,061 千円
 （トイレ棟、防災シェルター）

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/2) 60,000 千円
 都市計画事業債 187,000 千円



芹ヶ谷公園再整備基本計画(2016 年 3 月策定)ゾーニング計画図

問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 守田	電話	724-4397
------	------------------	----	----------

件 名	(仮称) 国際工芸美術館整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
29,931		0	0	0	0	29,931

【事業の背景・目的】

市立博物館が所蔵している日本有数の充実したコレクションとして評価されているガラスや陶磁器等、工芸美術作品をより多くの方にコレクションをご覧いただくため、(仮称)町田市立国際工芸美術館を整備します。また、既に開館している国際版画美術館に隣接して整備することで、相乗効果を生み出し、新たな文化の拠点として、文化芸術を全国へ発信するとともに、「まちなかで 人と緑が 出会い ふれあう 芸術の杜」の中核施設として一翼を担って、新たな交流と賑わいを生み出します。

【事業の内容】

(仮称)町田市立国際工芸美術館の実施設計を行います。

【施設概要】

建設予定地: 芹ヶ谷公園内(版画美術館北側)

延 床 面 積: 3,362.49 m²

階 層: 5 階層

構 造: RC 造、耐震構造

主 な 諸 室: コレクションギャラリー(2 室)

特別展示室(2 室)、工房兼学習室

カフェライブラリ、ミュージアムショップ

そ の 他: 中心市街地側と芹ヶ谷公園地上レベルまでの高低差を解消するため、エレベーターや緩やかな回遊通路を配置



(仮称)町田市立国際工芸美術館

【スケジュール】

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実施設計 2018.8～2020.2 19ヶ月		建築工事 2020.10～2022.8 23ヶ月		●竣工(8月予定) 開館(2月予定)●

【事業費】

実施設計委託料 29,931 千円

(2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費 99,769 千円)

問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 小田島	電話	724-2184
------	----------------------	----	----------

件 名		香山緑地整備事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
188,091		35,000	0	63,000	72,750	17,341
【事業の背景・目的】						
香山(かごやま)緑地は、市街地における貴重な緑の保全と都市景観の向上に資するため、2015 年度に都市計画決定を行いました。						
みどり豊かな樹林地と美しい庭園、および存在感のある書院造の建物を活かし、その歴史的価値を保ちながら公園施設としての整備を行い、地域住民との交流の場の提供に加え、周辺観光施設との連携を図る観光拠点として活用を図ることで、鶴川地域への来訪者の増加につなげます。						
【事業の内容】						
用地の取得及び既存建物の耐震改修基本設計を行います。 (香山緑地 計画面積 1.7ha 用地取得 0.2ha)						
【スケジュール】						
	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
用地	用地取得	用地取得				
管理・運営	事業可能性調査		庭園プレオープン		全体オープン	
	事業手法決定 (公募型設置・管理許可、指定管理 等)	運営事業者募集・決定	公園施設 設置管理許可手続 運営事業計画	運営準備	香山緑地全体 事業者管理開始 (地域連携)	
建物	既存建物耐震・改修基本設計	既存建物耐震・改修実施設計	既存建物耐震・改修工事			
	既存建物取得		設置管理許可建物 建築手続	設置管理許可建物 建築工事		

香山緑地建物



【主な事業費】	
用地購入費	169,950 千円
事業検討委託料	7,500 千円
既存建物耐震・改修基本設計委託料	6,000 千円
建物購入費	3,780 千円
【特定財源】	
社会資本整備総合交付金(国 1/3)	35,000 千円
都市計画事業債	63,000 千円
緑地保全基金繰入金	72,750 千円

香山緑地庭園



問合せ先	都市づくり部 公園緑地課長 守田	電話	724-4397
------	------------------	----	----------

件 名		町田市文化プログラム推進事業										
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源						
3,570		0	1,785	0	0	1,785						
【事業の背景・目的】 オリンピック・パラリンピック開催都市は、複数の文化イベントからなる「文化プログラム」を実施することがオリンピック憲章で求められています。 そのために2017年3月に策定した「町田市文化プログラム推進計画」に基づき、町田市文化プログラムを計画的かつ具体的に実施するため、「町田市文化プログラム実行計画」を2018年1月に策定しました。 町田市では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック等を契機とし、文化資源の活用や地域文化の振興に対する市民の気運を高め、2020年以降の町田市が文化を通してより豊かなまちへと成長するための仕組みづくりとして、町田市文化プログラムを推進します。												
【事業の内容】 町田市文化プログラム実行計画に基づき、市民協働事業を実施します。市民に多くの文化に触れる機会を設けるため、市内団体との協働等による事業を実施します。 また、広報紙、ホームページ、チラシ等による広報を行い、町田市文化プログラムをPRし、市民の参画を促します。												
【スケジュール】												
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
市が主催する町田市文化プログラムの実施			●	●	●		●		●			
市民等への町田市文化プログラムの周知			広報まちだ発行									
			チラシ配布									
			ホームページ掲載									
【事業費】 <table><tr><td>イベント企画運営委託料</td><td>1,730 千円</td></tr><tr><td>会場借上料</td><td>1,250 千円</td></tr><tr><td>チラシ作成委託料</td><td>590 千円</td></tr></table>							イベント企画運営委託料	1,730 千円	会場借上料	1,250 千円	チラシ作成委託料	590 千円
イベント企画運営委託料	1,730 千円											
会場借上料	1,250 千円											
チラシ作成委託料	590 千円											
【特定財源】 <table><tr><td>スポーツ振興等事業費補助金</td><td></td></tr><tr><td>普及啓発事業(都 1/2)</td><td>1,785 千円</td></tr></table>							スポーツ振興等事業費補助金		普及啓発事業(都 1/2)	1,785 千円		
スポーツ振興等事業費補助金												
普及啓発事業(都 1/2)	1,785 千円											
問合せ先	文化スポーツ振興部 文化振興課長 小田島			電話	724-2184							

件 名		スポーツ広場計画策定事業（スポーツをする場の環境整備）				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
3,497		0	0	0	0	3,497
【事業の背景・目的】 現在、身近にスポーツを楽しめる場が不足しており、幅広い世代が気軽にスポーツができる場が求められています。 市民がスポーツをする環境の整備を町田市5ヵ年計画 17-21 の重点事業として位置づけ、誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、高架下、雨水調整池等をスポーツ施設やスポーツ施設を併設した公園として整備し、効率的・効果的な施設管理及び運用を行います。						
【事業の内容】 成瀬鞍掛スポーツ広場について、公のスポーツ施設として整備するにあたり、基本計画を策定します。 また、小山上沼公園内の二次調整池を活用し、スポーツ施設として整備するにあたり、地質調査を実施します。						
【スケジュール】						
	概要	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
成瀬鞍掛 スポーツ広場	西成瀬 2-7 16,201 m ²	基本計画 策定	基本設計	実施設計	整備工事 供用開始予定●	
小山上沼 調整池 スポーツ施設	小山河丘 3-1-1 3,600 m ² (二次調整池のみ)	地質調査	基本・実施 設計	整備工事 供用開始予定●		
【事業費】 成瀬鞍掛スポーツ広場 基本計画策定委託料 3,000 千円 小山上沼調整池スポーツ施設 地質調査委託料 497 千円						
問合せ先		文化スポーツ振興部 スポーツ振興課長 石田			電話	724-4036

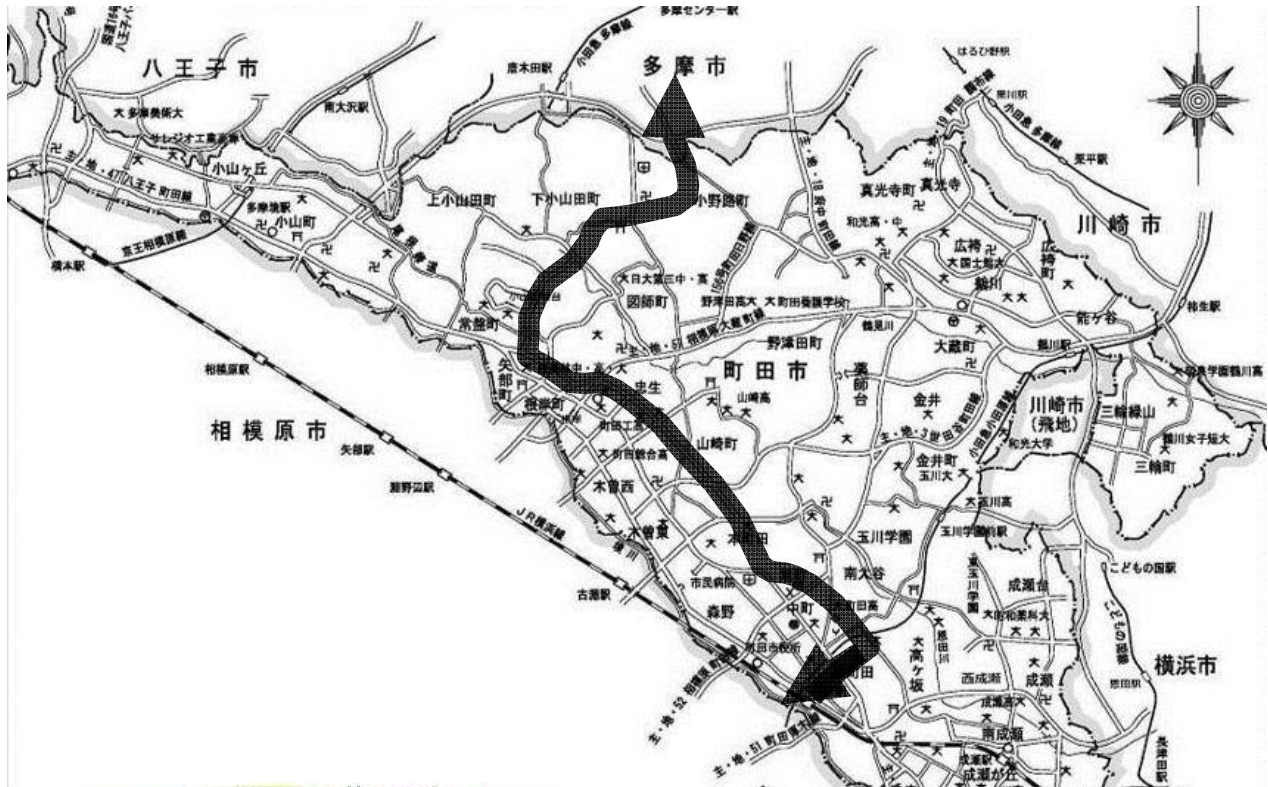
件 名	路線バス利用促進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
60,140		0	0	46,000	0	14,140
【事業の背景・目的】 町田市は、鉄道駅が市域の外縁部に位置していることから、路線バスが鉄道駅までの交通手段として大きな役割を担っています。特に、町田駅は多くのバス路線が集中し、利用者も多く、都内でも有数のバスの拠点となっていますが、路線バスの一極集中は、乗降場所のわかりにくさや周辺道路の混雑を招く要因となっています。 一方、市内を南北に結ぶ多摩都市モノレールの町田方面延伸は、町田市の新たな都市構造の骨格となることから、これからの交通施策は、モノレールの延伸を前提とした取り組みを行い、路線バスとモノレールの役割分担を考え、市内を快適に移動しやすい環境にするために公共交通網を再構築する必要があります。 このような背景の中で、『路線バスが利用しやすく快適に移動できるまちにする』ことを目的に、「町田市便利なバス計画」を通じてこれまで推進してきた、乗り継ぎ拠点の整備や交通空白地区の解消も含め、新たな公共交通網の姿を各交通事業者と共有し、便利で利用しやすいバスのネットワーク構築を目指すものです。 また、成瀬駅北口広場（南 1805 号線）については、既存の施設配置を見直し、一般車の乗降場を確保するとともに広場の利用環境を改善します。						
【事業の内容】 ○「町田市便利なバス計画」に基づく乗り継ぎ拠点整備を推進していくため、乗り継ぎ拠点の候補となる桜美林学園付近において、交通ターミナル整備に向けた測量調査を実施します。 ○成瀬駅北口広場（南 1805 号線）改良については、詳細設計を実施し、工事を実施します。						
【事業費】 桜美林学園交通ターミナル整備測量委託料 4,713 千円 成瀬駅北口広場（南 1805 号線）改良工事費 51,728 千円 成瀬駅北口広場（南 1805 号線）詳細設計委託料 3,699 千円						
【特定財源】 道路整備事業債 46,000 千円						
問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡 道路部 道路整備課長 北川			電話	724-4260 724-1122	

件 名		多摩都市モノレール延伸事業						
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源		
73,324		0	0	0	0	73,324		
【事業の背景・目的】								
2016 年 4 月に国土交通省の交通政策審議会がまとめた「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（答申）」において、「道路整備の進捗を見極めつつ、事業化に向けて関係地方行政団体・鉄道事業者等において具体的な調整を進めるべき」と一段進んだ位置づけがなされ、延伸の実現性が大きく高まりました。 早期の延伸実現をより確かなものにしていくため、町田市の未来の姿として「モノレールが走るまちの姿」をより具体的に描き、実行していく必要があります。								
【事業の内容】								
① モノレール・路線バス・コミュニティバス等の公共交通網のあり方を検討します。また起点となる町田駅について、駅まちマネジメント会議を立ち上げ、モノレールと2つの鉄道駅との接続・連絡方法、交通ターミナル機能の再構築等について検討します。 ② モノレールの導入に必要な空間を確保するため、桜台通り（都市計画道路 3・4・20（下小山田））の調査検討を行います。 ③ モノレールの導入空間として想定している上記②の延伸部（新竹之内橋付近～多摩市方面）について、将来道路ネットワーク構築を踏まえた調査検討を行います。								
【スケジュール】								
2018 年度								
7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
①公共交通網再編検討				①駅連絡方法・交通ターミナル配置検討				
				①駅まちマネジメント会議（11 月・2 月開催予定）				
				②調査検討				
③延伸部調査								
				関係機関協議				
2019 年度			2020 年度		2021 年度		2022 年度	
・ 計画検討、マスタープラン改定検討 （都市計画、公共交通網計画等） ・ 関係機関協議							各実施主体による関係法手続き （都市計画決定、事業認可取得、 軌道法特許取得、環境影響評価）	

【主な事業費】

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| ① 公共交通網等検討委託料 | 50,000 千円 |
| ② 予備設計委託料(都市計画道路 3・4・20(下小山田)) | 10,000 千円 |
| ③ 延伸調査委託料(都市計画道路 3・4・20(下小山田)の延伸部) | 5,000 千円 |

多摩都市モノレールの延伸イメージ



問合せ先	都市づくり部 都市政策課多摩都市モノレール推進室長 竹川 道路部 道路整備課長 北川	電話	724-4077 724-1122
------	---	----	----------------------

件 名	鶴川駅周辺街づくり事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
71,306		6,935	0	0	0	64,371

【事業の背景・目的】

鶴川駅周辺地区は、北口交通広場の再編や南口市街地整備などの検討を地権者とともに進めており、2016 年 10 月に策定した「鶴川駅周辺再整備基本方針」に基づき、都市基盤整備を行い、土地利用の増進や都市防災の向上等を進め、交通利便と生活環境等の改善を図ります。

【事業の内容】

○北口交通広場の再編及び自由通路整備

北口交通広場については、都市計画変更及び測量設計を行います。

南北自由通路については、都市計画決定及び、2018 年 7 月に小田急電鉄と基本設計に関する協定を締結し、基本設計を行います。

○南口市街地整備

土地区画整理事業の都市計画変更を行います。事業進捗に向けて、東京都及び地権者との協議を行います。

南口アクセス路については、交通管理者、道路管理者等と協議を進めながら、基本設計を行います。

【スケジュール】

2018 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
北口交通広場整備	都市計画変更											☆告示
				測量設計								
南北自由通路整備	都市計画決定											☆告示
				基本設計								
				☆基本設計協定締結（小田急電鉄）								
南口土地区画整理事業	都市計画変更											☆告示
南口アクセス路整備	川崎市協議											
				基本設計								

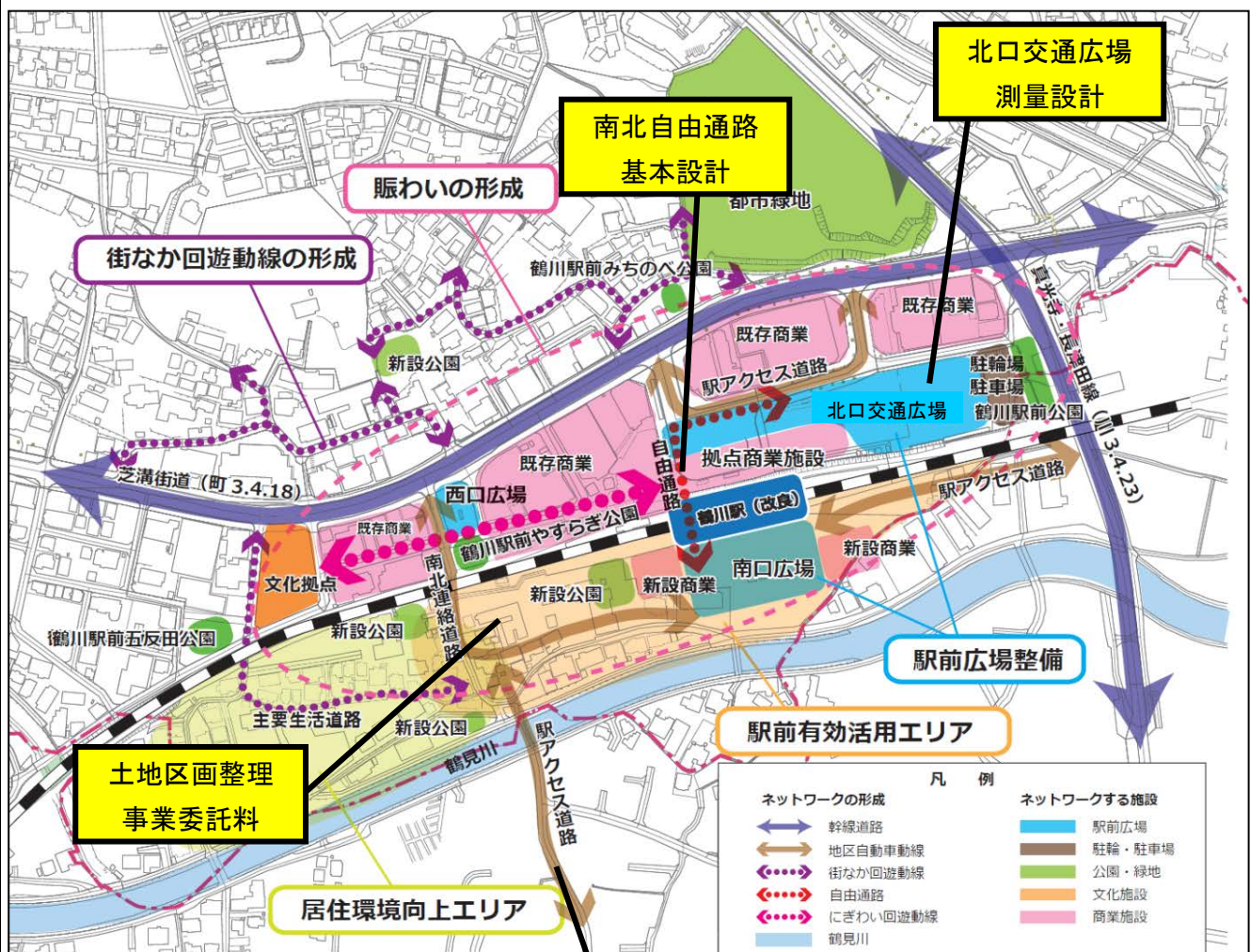
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
北口交通広場整備		事業認可			
	基本設計	実施設計 用地取得	整備工事（2024 年度仮使用）		
南北自由通路整備	基本設計	実施設計	事業認可	桁製作	整備工事 （～2024 年度）
	【参考】駅舎改良（小田急電鉄）	☆基本設計	☆実施設計	☆改良工事（～2024 年度）	
南口土地区画整理事業	換地設計、用地取得、工事測量		仮換地	整備工事（～2026 年度） 駅前広場整備	
	事業認可				
南口アクセス路整備	基本設計、用地測量		道路認定	用地取得	

【主な事業費】

土地区画整理事業委託料	31,145 千円
南北自由通路整備負担金	30,000 千円
南口アクセス路基本設計委託料	6,000 千円
北口交通広場測量設計委託料	4,000 千円

【特定財源】

社会資本整備総合交付金(国 1/2)	6,935 千円
--------------------	----------



問合せ先

都市づくり部 地区街づくり課長 原田

電話

724-4214

件 名	相原駅周辺街づくり事業					
要求額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
28,990		0	0	0	0	28,990

【事業の背景・目的】

相原駅周辺の新たな土地利用や都市基盤整備等について検討を行い、暮らしを支え、地域の顔となるようににぎわいと活気ある生活中心地にふさわしい駅前づくりをめざします。

【事業の内容】

○駅東口の街づくり

町田街道の立体交差化に伴い、駅前広場方向及び堺市民センターへのアクセス確保や、駅周辺の賑わいの創出を図るため、新たなアクセス路の整備を行います。そのための測量・調査・設計を行います。また、都市計画変更を見据えたまちづくりの検討を行います。

○駅西口の街づくり

駅前にふさわしい新たな土地利用を検討する「まちづくり勉強会」へアドバイザーを派遣し、支援を行います。

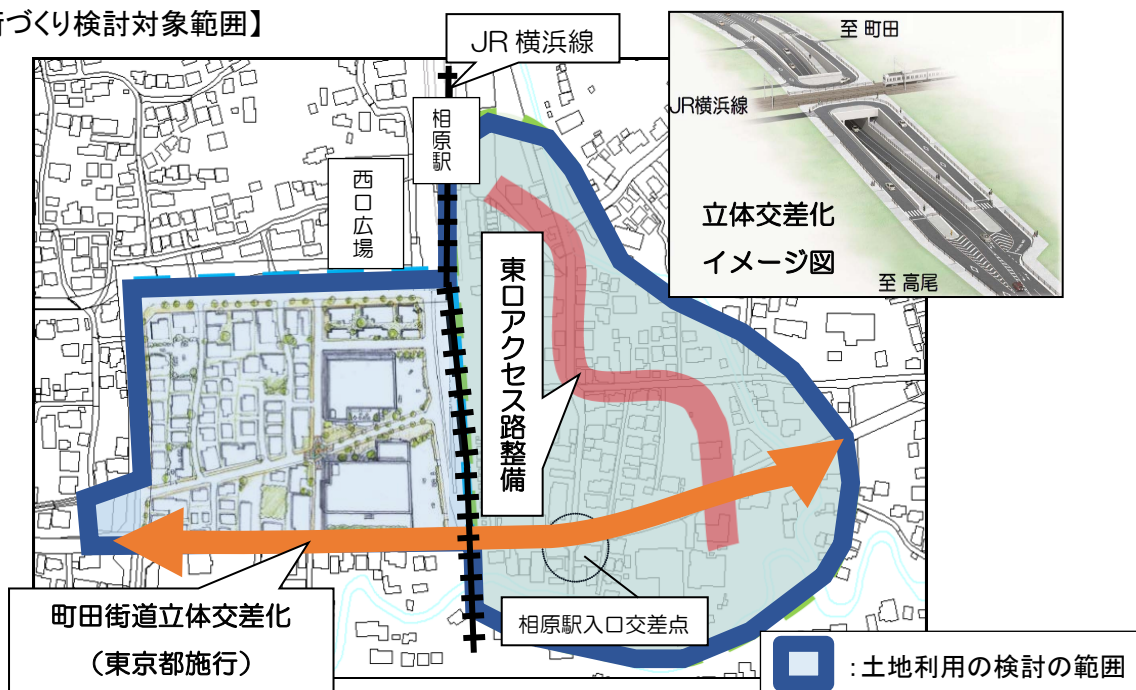
【スケジュール】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
駅東口	まちづくり検討(都市計画変更に向けた検討)											
				調査測量、予備設計								
							地質調査					
駅西口	整備手法の検討(関係機関等協議及び地権者個別調整)、勉強会の実施											

【主な事業費】

アクセス路調査測量委託料	16,500 千円	アクセス路地質調査委託料	6,350 千円
アクセス路予備設計委託料	4,880 千円	街づくり支援委託料	1,080 千円

【相原駅周辺街づくり検討対象範囲】



問合せ先	都市づくり部 地区まちづくり課長 原田 道路部 道路整備課長 北川	電話	724-4214 724-1122
------	--------------------------------------	----	----------------------

件 名	地域コミュニティバス運行事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
8,881		0	0	0	0	8,881

【事業の背景・目的】

市内の公共交通は、路線バスが大きな役割を担っておりますが、狭い生活道路が散在することや、事業採算が見込めないことから、路線バスが運行されず、公共交通での移動が不便な地域があります。

また、高齢化の進展に伴い、自動車を運転しない方が増加していくことが予測され、その移動の受け皿となる公共交通サービスの充実が求められています。

つくし野地区は、地形的に駅と住宅地の間に高低差があり、急な坂道が多い地域です。また、つくし野地区の一部には交通空白地区が存在しています。

このような状況の中で、つくし野地区に存在する交通空白地区を解消し、日中の移動に不便を感じている方の移動支援を目的として、新規路線導入に向けたコミュニティバスの実証実験運行を行います。

【事業の内容】

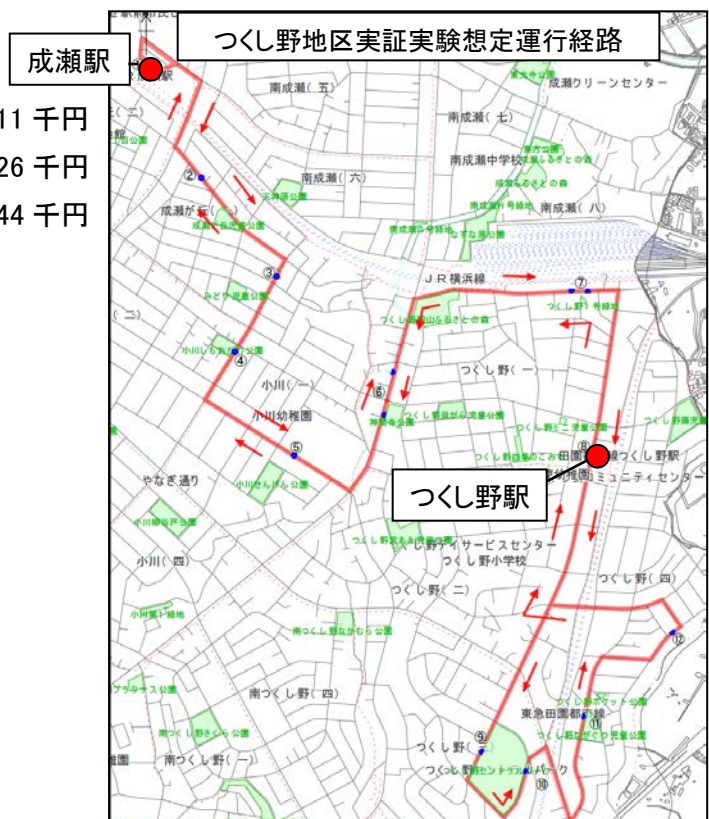
コミュニティバスの導入を予定しているつくし野地区について、地域組織や交通管理者等の関係機関と調整し、区画線改良等の走行環境整備を行い、2019年1月から実験を開始します。

<想定内容>

実験期間	2019年1月10日～3月31日（うち運行日数：平日のみの54日）
運行距離	1周 8.3km
運行便数	1日7便（閑散時間帯を除く午前9時～午後5時の間で1時間1便程度を想定）
運 賃	路線バスと同等の運賃（70歳以上利用者 100円）

【事業費】

走行環境整備工事費	5,411千円
新規路線導入実証実験運行事業補助金	2,326千円
停留所標識作成委託料	1,144千円



問合せ先	都市づくり部 交通事業推進課長 岩岡	電話	724-4260
------	--------------------	----	----------

件 名	忠生 579 号線・忠生 630 号線新設改良事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
257,629		0	91,500	57,000	0	109,129

【事業の背景・目的】

円滑な通行と交通の安全を確保するため、都市計画道路と生活道路を結ぶ準幹線道路を整備します。

【事業の内容】

○忠生 579 号線（整備延長 1,300m）

北部丘陵地域である小山田地区の地域生活環境の向上を図るとともに、地域まちづくりのための骨格道路を整備することにより交通の円滑化を図ります。2027 年度に全線の開通を予定しています。

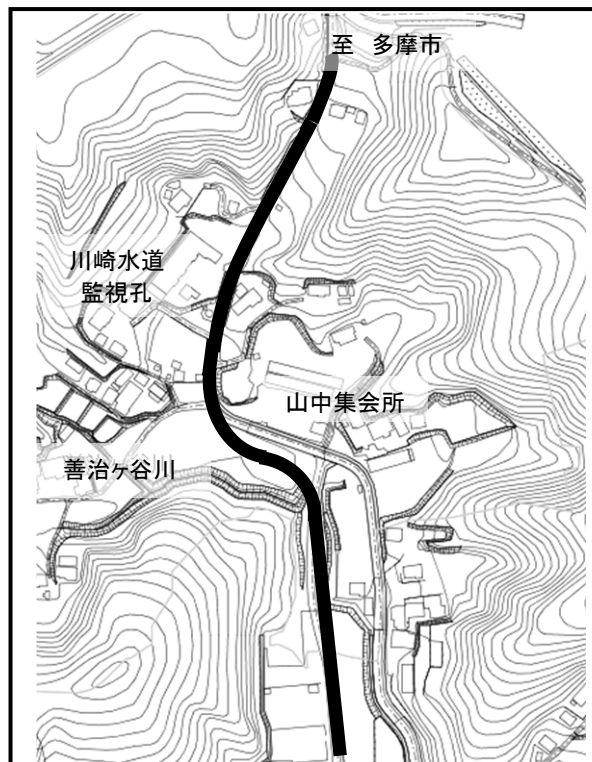
○忠生 630 号線（整備延長 650m）

都市計画道路 3・4・40 号線の整備が予定されている中、周辺の土地利用により交通量の増加が見込まれているため、本路線の整備により交通の円滑化を図ります。2021 年度の開通を予定しています。

忠生 579 号線 案内図



忠生 630 号線 案内図



【主な事業費】

○忠生 579 号線

設計委託料 13,000 千円 地質調査委託料 3,082 千円 自然環境調査委託料 1,970 千円

○忠生 630 号線

用地購入費 141,263 千円 物件等補償料 74,773 千円 設計委託料 9,250 千円

【特定財源】

道路橋梁費補助金（都 1/2） 91,500 千円

道路整備事業債 57,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 北川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名		循環型施設整備事業																								
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源																				
431,839		0	0	135,000	0	296,839																				
【事業の背景・目的】 「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき、資源を有効に利用する循環型社会の構築に向けて、老朽化したごみ処理施設に代わり、資源循環型施設を分散して配置するものです。 熱回収施設等（焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設）を町田リサイクル文化センター敷地内に、資源ごみ処理施設（容器包装プラスチック、ビン、カン等）を市内 2 箇所（相原地区、上小山田地区）に整備します。 また、施設周辺の魅力向上や環境整備のため、公園等の整備を進めます。 【事業の内容】 1 資源ごみ処理施設（相原地区） 関係者との調整を図り、用地取得に向けた手続きや法令手続きの準備等を進めます。 2 （仮称）蓮田公園整備及び（仮称）大戸広場整備 循環型施設整備に伴い、施設周辺の魅力向上や環境整備を推進するため、公園等の整備に必要な法令手続き等を行います。 【主な事業費】 <table><tr><td>物件等補償料</td><td>236,552 千円</td></tr><tr><td>（内訳）資源ごみ処理施設（相原地区）</td><td>202,527 千円</td></tr><tr><td>（仮称）大戸広場整備</td><td>34,025 千円</td></tr><tr><td>資源ごみ処理施設（相原地区）用地購入費</td><td>180,000 千円</td></tr><tr><td>不動産鑑定委託料</td><td>9,188 千円</td></tr><tr><td>（内訳）（仮称）蓮田公園整備</td><td>3,515 千円</td></tr><tr><td>資源ごみ処理施設（相原地区）</td><td>2,497 千円</td></tr><tr><td>（仮称）大戸広場整備</td><td>1,510 千円</td></tr><tr><td>その他周辺環境整備</td><td>1,666 千円</td></tr></table> 【特定財源】 <table><tr><td>廃棄物処理施設整備事業債</td><td>135,000 千円</td></tr></table> 							物件等補償料	236,552 千円	（内訳）資源ごみ処理施設（相原地区）	202,527 千円	（仮称）大戸広場整備	34,025 千円	資源ごみ処理施設（相原地区）用地購入費	180,000 千円	不動産鑑定委託料	9,188 千円	（内訳）（仮称）蓮田公園整備	3,515 千円	資源ごみ処理施設（相原地区）	2,497 千円	（仮称）大戸広場整備	1,510 千円	その他周辺環境整備	1,666 千円	廃棄物処理施設整備事業債	135,000 千円
物件等補償料	236,552 千円																									
（内訳）資源ごみ処理施設（相原地区）	202,527 千円																									
（仮称）大戸広場整備	34,025 千円																									
資源ごみ処理施設（相原地区）用地購入費	180,000 千円																									
不動産鑑定委託料	9,188 千円																									
（内訳）（仮称）蓮田公園整備	3,515 千円																									
資源ごみ処理施設（相原地区）	2,497 千円																									
（仮称）大戸広場整備	1,510 千円																									
その他周辺環境整備	1,666 千円																									
廃棄物処理施設整備事業債	135,000 千円																									
問合せ先	環境資源部 循環型施設整備課長 平本			電話	724-4384																					



件 名	(仮称) 町田スポーツ公園整備事業					
予算額 (単位:千円)	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
16,626		0	0	0	0	16,626

【事業の背景・目的】

2017 年度に策定した「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づき、最終処分場の一部を閉鎖し、その上部に多目的広場やバスケットボールコートなどの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。

【事業の内容】

先行して活用を図る池の辺地区について、公園を整備するための基本設計を行います。

【スケジュール(池の辺地区)】

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
公園整備	基本設計	実施設計		整備工事	開園
【参考】 処分場 閉鎖手続	生活環境 影響調査	最終覆土等工事	埋立て処分 終了届提出		

※生活環境影響調査については 2018 年度当初予算に計上済み

【事業費】

(仮称)町田スポーツ公園基本設計委託料 16,626 千円

【整備イメージ図】



問合せ先

都市づくり部 公園緑地課長 守田

電話

724-4397

件 名	無電柱化推進事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
14,879		0	8,316	0	0	6,563

【事業の背景・目的】

町田市ではこれまで、都市計画道路整備事業や土地区画整理事業にあわせて電線共同溝等を整備することにより、無電柱化を図ってきました。無電柱化を行った延長は、整備中の道路も含めると、約 11kmです。

2016 年 12 月に「無電柱化の推進に関する法律」が施行され、良好な景観の創出、安全で快適な通行空間の確保、防災機能の強化を図るため、無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に策定し、実施することが地方公共団体の責務として定められました。

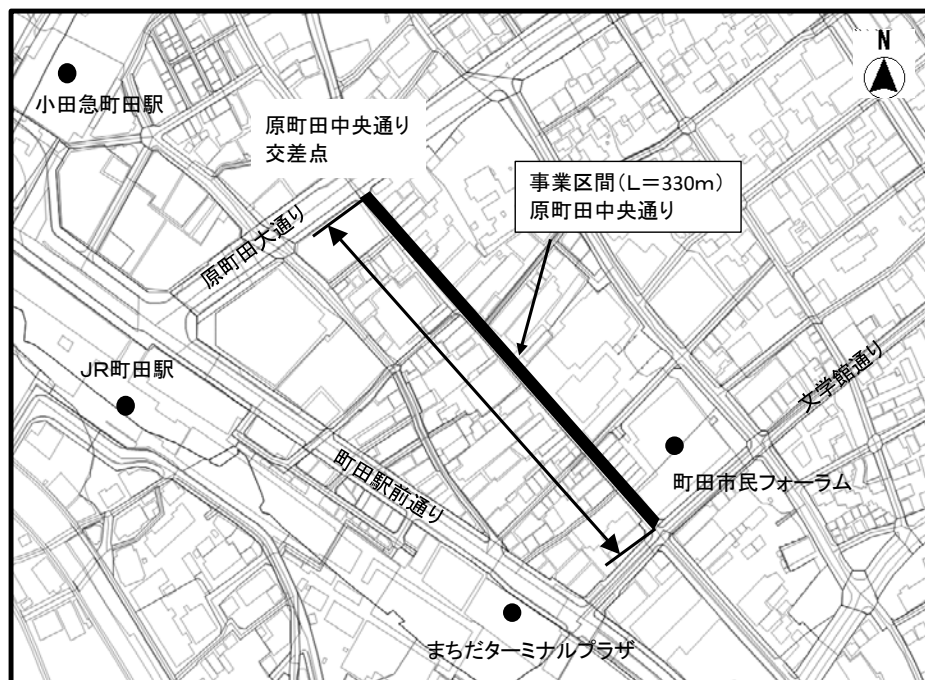
このことを受け、道路整備時の無電柱化に加え、既設の道路における無電柱化も推進していきます。

○原町田中央通り

【事業の内容】

市民や来街者の通行が多く、無電柱化の効果が高いこと、また、商業の活性化への貢献が期待されることから、中心市街地の「原町田中央通り」について、幅員 6m の現道とセットバック用地を活用した無電柱化事業実施に向けた電線共同溝整備手法の具体的な調査検討を行います。

原町田中央通り 案内図



【事業費】

原町田中央通り電線共同溝調査検討委託料 6,563 千円

○町田 623 号線

【事業の内容】

町田 623 号線は、2017 年 11 月に移転した町田消防署の前面道路であり、現在東京都が整備中の都市計画道路町田 3・3・36 号線と鎌倉街道を繋ぐ路線です。

都市計画道路町田 3・3・36 号線は町田市民病院前で町田街道に接続し、中心市街地へ至る路線であること、鎌倉街道は災害時の緊急輸送道路に指定されていることから、両路線を繋ぐ町田 623 号線は防災上重要な路線であり、無電柱化により防災機能の向上が期待できます。

2018 年度は町田 623 号線の鎌倉街道から都市計画道路町田 3・3・36 号線までの間の約 900mについて、無電柱化に向けた条件整理や課題抽出など基礎調査を行います。

町田 623 号線 案内図



【事業費】

基礎調査委託料 8,316 千円

【特定財源】

道路橋梁費補助金(都 10/10) 8,316 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 北川	電話	724-1122
	道路政策課長 大坪		724-1120

件 名	都市計画道路 3・4・41 号線（小山）整備事業					
要求額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
11,000		0	0	0	0	11,000

【事業の背景・目的】

円滑に移動できる道路網を実現するため、道路網の基幹である都市計画道路の整備を進めます。

【事業の内容】

事業地は小山町地内、八王子市から相模原市を結ぶ南北道路ネットワークを構築する都市計画道路です。本路線を整備することにより、相模原市方面のアクセス向上及び町田街道の慢性化した渋滞を解消します。

都市計画道路 3・4・41 号線（小山）案内図



整備区間(実線部分) 延長 60m 幅員 18m

【事業費】

測量委託料	6,000 千円
予備設計委託料	5,000 千円

問合せ先	道路部 道路整備課長 北川	電話	724-1122
------	---------------	----	----------

件 名	水素ステーション誘致事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
22,000		0	0	0	0	22,000

【事業の背景・目的】

近年、地球温暖化対策として水素エネルギーの活用が注目されています。その中で、国や東京都をはじめとして水素社会の実現に向けた取組を行っており、特に、東京 2020 オリンピック・パラリンピックまでに、水素エネルギーの活用について世界にアピールし、その後の普及拡大へつなげる施策を展開しています。

このため、町田市でも水素社会の実現に向けた取組みとして、燃料電池自動車（FCV）普及のため、水素ステーションを誘致します。



FCV 車とゼルビー

【事業の内容】

燃料電池自動車（FCV）の普及を促進するため、市内に水素ステーションを誘致します。



【事業費】

燃料電池自動車用水素供給施設整備費補助金 22,000 千円



水素エネルギーの普及啓発活動



市内イベントでの FCV 車出展

問合せ先	環境資源部 環境・自然共生課長 大久保	電話	724-4391
------	---------------------	----	----------

件 名		公共施設等マネジメント事業								
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
2,817		0	0	0	0	2,817				
【事業の背景・目的】 全国の自治体を取り巻く状況として、生産年齢人口の減少や高齢化、市民ニーズの多様化等による構造的収支不足が拡大している中、老朽化した公共施設が今後更新時期を迎えることによるさらなる財政負担が見込まれています。町田市でもこの課題に対応するため、2015 年度に公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な方針を示した「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」を策定しました。 ここで、公共施設再編に向けてどのように取り組んでいくか等を取りまとめた「町田市公共施設再編計画」（以下、再編計画という）に基づき、学校をはじめとした、公共施設・公共空間のより良いかたちを実現していくための取り組みを推進します。再編計画の推進にあたっては、施設の利用者や関係者だけでなく、広く市民に公共施設を取り巻く状況や課題、今後の取り組みについて周知を図ります。										
【事業の内容】 1 公共施設を取り巻く状況や課題、今後の取り組み等を広く市民に周知します。 2 再編計画の推進のため、公共施設等マネジメント委員会を開催し、計画の進捗管理や取り組みの具体的な事業手法等の検討を行います。 3 再編計画に定める 2018～2026 年度に進める取り組み（短期再編プログラム）を推進していきます。										
【スケジュール】										
	2018年度									
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
再編計画の策定	計画策定									
周知等			情報紙発行	シンポジウムの開催	地域への周知	→				
検討・推進			公共施設等マネジメント委員会					公共施設等マネジメント委員会		
【主な事業費】 公共施設再編計画推進支援委託料										

件 名		小・中学校適正規模・適正配置推進事業							
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源			
8,068		0	0	0	0	8,068			
【事業の背景・目的】									
町田市の年少人口（0～14 歳人口）は、2015 年度に町田市未来づくり研究所が行った人口推計において、2015 年から 2035 年までの 20 年間で約 25%減少することが見込まれています。 年少人口が減少した場合に、市内の小・中学校において学級数の減少が進行し、これまでの児童・生徒の学習環境が変化していくことが想定されます。 年少人口が減少する将来を見据えて、児童・生徒がより良い学習環境で学ぶことができるようにすることを目的として、小・中学校の適正規模・適正配置を検討及び推進します。									
【事業の内容】									
2019 年度に設置を予定している「（仮称）町田市小・中学校適正規模・適正配置等審議会」において適正規模・適正配置を審議する上で必要な以下の推計・分析等を行います。 1 小・中学校の児童・生徒数及び学級数の将来推計及び分析 小・中学校別の児童・生徒数及び学級数の将来推計について、2018 年度を起点とした今後 20 年間の推計を行ったうえで、市全体、地域別及び学区別に分析します。 2 学校別の規模及び配置の現状整理 （1）校舎内の普通教室・特別教室・管理諸室等の利活用の現状や敷地内の建物配置状況等について、児童数・生徒数及び学級数の現状及び将来推計と比較しながら整理します。 （2）各学区における小・中学校の配置に対する児童・生徒の通学距離の現状を整理します。 3 適正配置を審議するための通学区域シミュレーション 将来推計及び現状整理をもとに、適正配置を審議するための通学区域シミュレーションを行います。 4 学校施設にかかる検討課題の整理 適正規模・適正配置の審議に併せて検討すべき学校施設にかかる課題を整理します。 （検討課題の例） 例①：教育内容の変化が学校施設に与える影響（少人数学級、英語教育、アクティブラーニング等） 例②：学校施設が地域において果たす役割（地域コミュニティの拠点化、他の公共施設等との複合化等）									
【スケジュール】									
区分	2018年度								
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
将来推計・分析									
規模・配置の現状整理									
通学区域シミュレーション									
検討課題の整理									
【事業費】									
小・中学校適正規模・適正配置検討支援委託料							8,068 千円		
問合せ先		学校教育部 教育総務課長 田中			電話		724-2172		

件 名	公共施設等維持保全事業					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
415,171		△13,584	6,326	170,600	63,772	188,057

【事業の背景・目的】

町田市の公共施設は、その半数以上が 30 年以上経過しており、老朽化した施設の安全性を確保し、快適に使用できるよう維持保全する必要があります。

2015 年度に策定した町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）では、過去 10 年間で市が支出した建築物の維持管理費用は 684 億円、1 年間に平均すると事業費で約 68 億円でしたが、今ある施設をこのまま維持した場合、2016 年度から 2055 年までの 40 年間では、1 年間で事業費を約 104 億円要し、仮に現在と同程度の維持管理費用を今後も捻出できたとしても、単年度あたり 36 億円もの維持管理費用が不足すると見込まれています。

そこで、庁舎や学校施設などの公共施設、道路や橋梁などの都市インフラ施設の老朽化に対応するため、施設建築年数や施設劣化状況から計画的に長寿寿命化工事を行い、施設の安全性の確保や、財政負担の平準化を図ります。

【主な事業内容】

1 市有建築物全般

＜室内プール＞

老朽化が進んでいる空気調和設備（換気設備、床暖房設備、自動制御設備等）を改修します。工事期間中、施設は休館する予定です。

空調工事予定期間 2018 年 10 月～2019 年 9 月

工事予定期間（全体）2018 年 7 月～2019 年 9 月（休館予定期間 2018 年 9 月～2019 年 9 月）

※工事予定期間（全体）は、建築工事、給排水衛生設備他すべての工事を含めた実施期間です。

【事業費】 施設改修工事費 117,298 千円

【特定財源】 防災・安全交付金（国 1/3）△1,550 千円

体育施設整備事業債 91,000 千円

公共施設整備等基金繰入金 10,200 千円

（2018～2019 年度債務負担行為事業 総事業費 2,077,629 千円）



＜室内プール＞

＜文化交流センター＞

地震による吊り天井落下を防止するため、より安全な軽い天井に改修します。工事期間中は、ホールの利用を停止する予定です。

工事予定期間 2018 年 10 月～2019 年 2 月

（ホール貸出中止予定期間 2018 年 11 月～2019 年 2 月）

【主な事業費】 施設改修工事費 40,000 千円

【特定財源】 防災・安全交付金（国 1/3）2,471 千円

産業観光施設整備事業債 7,000 千円

公共施設整備等基金繰入金 12,300 千円



＜文化交流センターホール＞

問合せ先 財務部 営繕課長 田中 電話 724-1293

2 学校施設

＜校舎等の改修＞

施設の老朽化に伴い、雨漏りが多発しており、外壁のモルタルの浮きや窓枠のがたつきも多く見られることから、建物の老朽化対策と安全対策として校舎外壁、屋上防水、サッシ改修などの校舎外回りの改修に一部設備の改修を併せた中規模改修工事の設計(小学校2校・中学校1校)を行います。

【事業費】 設計委託料 60,600 千円

問合せ先 学校教育部 施設課長 浅沼 電話 724-2174

3 公園施設

今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、公園施設長寿命化対策工事を行います。

【事業費】 施設改修工事費 50,000 千円

【特定財源】 社会資本整備総合交付金(国 1/2) 9,600 千円

都市計画事業債 8,000 千円

公共施設整備等基金繰入 11,900 千円

問合せ先 都市づくり部 公園緑地課長 守田 電話 724-4397

4 道路

＜ペDESTリアンデッキ＞

安全で快適に通行できるよう、JR 町田駅周辺ペDESTリアンデッキの点検を計画的に行い、異常を早期に発見して損傷の予防に努め、施設の長寿命を図ります。

【事業費】 ペDESTリアンデッキ点検委託料 16,319 千円

【特定財源】 防災・安全交付金(国 5/10) 5,750 千円



＜ペDESTリアン 3 号デッキ＞
(JR 町田駅周辺)

＜道路舗装補修工事＞

老朽化した道路の舗装補修工事を計画的に行い、良好な道路環境を維持し、誰もが安全かつ円滑に移動できるようにします。

【事業費】 舗装補修工事費 73,980 千円

【特定財源】 道路橋梁費補助金(都 3/10) 16,555 千円

道路整備事業債 38,000 千円



＜忠生 1005 号線＞
(山崎町築田寺南交差点付近)

問合せ先 道路部 道路維持課長 林田 電話 724-1121

件 名		子どもショートステイ（宿泊保育）事業				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
4,639		123	1,322	0	0	3,194

【事業の背景・目的】

子どもショートステイ事業は、児童を養育している保護者が疾病、就労形態、その他やむを得ない事由により児童を養育することが一時的に困難となったときに、短期間児童を預かり地域の子育て支援を行う事業です。

市では、満2歳から12歳（小学校6年生）までの子どもを対象とした子どもショートステイ事業を、2002年4月に開始しました。その後、子育て世帯について、核家族化や共働き世帯の増加等の影響もあり、2歳未満の子どもを対象とした子どもショートステイ事業への需要が高まっています。

そこで、市内では初となる2歳未満の子どもを対象とした宿泊保育を、2018年10月から実施します。

【事業の内容】

実施場所	社会福祉法人 愛恵会乳児院 町田市小山町 3191 番地 3
利用対象年齢	生後3か月から2歳未満
利用できる期間	1回の利用につき7泊まで
利用料（1泊2日）	6,000 円

【事業費】

子どもショートステイ事業委託料〈10月～3月分〉 4,639 千円

【特定財源】

子ども・子育て支援交付金（国 1/3）	123 千円
子ども・子育て支援交付金（都 1/3）	123 千円
子ども家庭支援包括補助事業費補助金（都 10/10）	1,199 千円



問合せ先	子ども生活部 子ども家庭支援センター長 田村	電話	724-4419
------	------------------------	----	----------

件 名		余裕施設活用型 1 歳児受入事業					
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
13,960		0	10,470	0	0	3,490	
【事業の背景・目的】							
2018 年 4 月 1 日現在の待機児童数は 146 人で、1 年前と比較して 83 人減少していますが、そのうち 6 割以上にあたる 93 人が 1 歳児の待機児童です。							
一方で、保育所の開設当初は 0～2 歳の低年齢児を中心とした定員設定であることから、3～5 歳の空き定員や余裕スペースが生じています。							
このような背景を受け、待機児童対策に有効かつ、保護者のニーズを踏まえた取組を推進するため、開設後 3 年以内の認可保育所の空き定員や余裕スペースを活用することにより、待機児童の多い 1 歳児を受け入れ、1 歳児に対する保育サービスの受け皿を拡充します。							
なお、2 歳児以降は保育所や幼稚園等で受け入れることを見込んでいます。							
（待機児童の状況）							
	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
2018 年 4 月	27 人	93 人	23 人	3 人	0 人	0 人	146 人
増減（前年比）	▲24 人	▲33 人	▲17 人	▲8 人	0 人	▲1 人	▲83 人
（以下参考）							
2017 年 4 月	51 人	126 人	40 人	11 人	0 人	1 人	229 人
【事業の内容】							
1 歳児の保育に要する運営費及び事業開始に要する備品等の購入費を補助します。							
対象施設	開設後 3 年以内の新設認可保育所						
対象児童	保育認定を受け、待機児童となった 1 歳児						
設備基準	認可保育所の基準、かつ同様の保育サービスを提供						
利用料金	認可保育所の負担額に準じる						
補助内容	運営費 ： 児童一人当たり月額 120 千円 備品等購入費 ： 1 施設当たり 1 回限り 1,000 千円						
待機児童受入可能人数:12 人(1 歳児)							
【事業費】							
保育所等運営費加算補助金		13,960 千円					
<内訳>							
運営費		12,960 千円(1 園×120 千円×9 ヲ月×12 人)					
備品購入費		1,000 千円					
【特定財源】							
子ども家庭支援包括補助事業費補助金(都 3/4)		10,470 千円					
問合せ先	子ども生活部 保育・幼稚園課長 押切			電話	724-2138		

件 名		幼稚園一時預かり事業				
予算額（単位:千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
41,216		9,838	30,058	0	0	1,320
【事業の背景・目的】						
町田市では、幼稚園や認定こども園において、教育活動の他に保護者の就労等に伴う保育ニーズに対応するために、教育時間の前後や長期休業日に児童の保育を行う一時預かり事業を実施しています。						
一方で、2018 年 4 月時点の待機児童数は 146 人であり、さらなる対策を早急に実施する必要があります。また、雇用保険関連法の改正に伴い、最長子どもが 2 歳に達する日まで育児休業の延長が出来るようになりました。そのため、育児休業終了後、復職にあたって 2 歳児以降の子どもの保育ニーズに対応することが求められています。						
幼稚園における 2 歳児以降の待機児童の受け入れをさらに推進するため、2 歳児を定期的に預かる仕組みを新たに創設するとともに、3～5 歳児の長時間預かりの単価を改正し、幼稚園における預かり事業の通年化・長時間化を実現することにより、待機児童の受け皿を拡充します。						
【事業の内容】						
下記の補助要件に該当する一時預かりを実施している幼稚園等に対して必要な経費を補助します。						
(1) 2 歳児を対象にした預かり事業（新規）						
	長時間型（8 時間以上）		短時間型（4～8 時間）			
要件	・8 時間以上の一時預かり事業を実施		・4 時間以上の一時預かり事業を実施 ・週 3 日・4 時間以上実施			
対象	・2 歳の誕生日を迎えた 3 号認定児		・同左			
単価	・1 施設あたり年額 2,340 千円 ・児童 1 人につき、1 日あたり 1,850 円 ・8 時間を超えた部分について、1 時間あたり 230 円を加算		・1 施設あたり年額 2,340 千円			
(2) 3～5 歳児を対象にした預かり事業（拡充）						
要件	・1 時間以上の一時預かりを実施 ・一時預かりの時間及び利用児童数に応じて加算を実施					
対象	・幼稚園、認定こども園の在園児					
単価	・長時間の預かりに対し以下の額を加算 8～10 時間未満：150 円（旧 100 円）、10～11 時間未満：300 円（旧 200 円） 11 時間以上：450 円（旧 300 円） or 950 円※（旧 800 円） ※年間 240 日以上開所した場合（認定こども園除く）					
【事業費及び特定財源内訳】						
(単位:千円)						
	事業費 (幼稚園一時預かり補助金)	財源内訳				
		国庫補助金 (子ども・子育て支援交付金)	都補助金 (子ども・子育て支援交付金)	一般財源		
2 歳児の預かり	31,892	6,730	18,430	6,732		
3～5 歳児の預かり	9,324	3,108	11,628	△5,412		
問合せ先	子ども生活部 保育・幼稚園課長 押切			電話	724-2138	

件 名	小・中学校入学準備金支給事業（就学奨励費）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
1,231		362	0	0	0	869

【事業の背景・目的】

障がいのある児童・生徒の就学の特殊事情にかんがみ、保護者の経済的負担を軽減するため、町田市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対して、世帯の状況に応じて就学奨励費（入学準備金、給食費、修学旅行費など）を支給しています。

国が就学奨励費の支給項目の一つである入学準備金の国庫補助限度額を、2018 年度予算において増額したため、これに準じて入学準備金の支給単価を増額（以下、増額後の単価を「新単価」とする）します。

【事業の内容】

前年度の総所得が生活保護基準の 2.5 倍未満（第Ⅱ段階認定者）の方のうち、2018 年 4 月に新小学 1 年生または新中学 1 年生として入学した児童・生徒の保護者に対して、入学準備金を新単価で 2018 年 7 月に支給します。

・支給対象世帯

世帯の状況（認定区分）	在籍学級	援助制度	対象者数	
			2018年4月入学	
前年度の総所得が生活保護基準の 2.5倍未満（第Ⅱ段階）	特別支援学級	特別支援学校への就学奨励に関する法律	小学1年生	22人
			中学1年生	33人

・入学準備金支給単価

入学する学校	a 新単価	b 旧単価	a-b 増額分
小学校	40,600円	20,470円	20,130円
中学校	47,400円	23,550円	23,850円

【事業費】

就学奨励費	1,231 千円
（内訳）入学準備金（小学校）	443 千円
入学準備金（中学校）	788 千円

【特定財源】

特別支援教育就学奨励費補助金（国 1/4）	362 千円
-----------------------	--------

問合せ先	学校教育部 学務課長 峰岸	電話	724-2176
------	---------------	----	----------

件 名		町田市立小・中学校における働き方改革に向けた取り組み				
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
39,467		0	28,114	0	0	11,353
【事業の背景・目的】 学校を取り巻く環境が複雑化・多様化し、学校に求められる役割が拡大する中で、教員の長時間労働の実態が明らかとなっており、町田市立小・中学校の教員を対象に実施した 2018 年 1 月中旬の勤務実態調査では、1 週間当たりの時間外勤務が 20 時間を超える教員は 411 名で、全体の 23%となっています。 このことは、学校における教育活動の質にも関わる重大な問題となっています。 こうした状況の改善に向け、働き方改革に向けた総合的な実施計画の策定とともに、当面打ち得る具体的な取組を迅速に実施します。						
【事業の内容】 1 町田市立小・中学校における働き方改革プラン策定事業 学校における働き方改革を総合的に推進するため、町田市の実情に応じた取組方針や目標を定めた実施計画(5ヵ年)を策定します。 2 町田市立小・中学校教職員出退勤管理システム導入事業 教員の在校時間を適切に把握するため、始業・終業時刻の確認・記録を行うシステムを新たに導入します。【2019 年 4 月稼働予定】 3 スクール・サポート・スタッフ配置事業 教員の負担軽減のため、教員の事務を補助するスタッフを新たに小・中学校に配置します。						
職務内容		・学習等のプリントの印刷・配布準備、授業準備の補助、採点業務の補助、その他教員の補助業務				
勤務日及び勤務時間		1 日 6 時間、週 5 日勤務				
2018 年度配置人数		16 人				
【主な事業費】 1 出退勤管理システム導入委託料 18,672 千円 2 賃金(スクール・サポート・スタッフ) 13,306 千円 3 働き方改革プラン策定支援委託料 3,000 千円						
【特定財源】 1 スクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金(都 10/10) 15,779 千円 2 学校における働き方改革推進事業費補助金(都 1/2) 9,335 千円 3 学校における働き方改革プラン策定支援事業費補助金(都 10/10) 3,000 千円						
問合せ先	学校教育部	教育総務課長	田中	電話	724-2172	
		指導課長	金木		724-2154	
		教育センター所長	勝又		793-2481	